

## 農政補助事業

村では高齢化による農家戸数の減少に伴う遊休荒廃農地化の防止、農薬の適正使用等による食の安全に対する取り組み、農産物の品質の維持向上や生産者の負担軽減対策、農業生産に係る環境への配慮等、農業振興を図るため、次の事業に対して予算の範囲内で補助金を交付します。

### 1 農地流動化補助事業

村内の農地の流動化を促進し、担い手の育成、遊休荒廃農地の減少を図り、地域農業の振興を担っていく体制を確立するため、農地の流動化を行った借り手農家等に対し補助金を交付します。

補助率：10aあたり3,000円

### 2 有害鳥獣被害防止事業

農作物の有害鳥獣被害を未然に防止するために防護柵等を設置した農業者に対し、要した経費の一部を補助します。

対象資材等：防護柵 防護ネット等 補助率：購入費の10%以内

### 3 農業近代化資金融資利子補給事業

農業者等の農業経営の近代化を推進するために必要な生産施設等の整備拡充をはかるため、特定の金融機関が融資を行なった場合において予算の範囲内で利子補給金を交付します。

対象資材等：融資に係る利子 補助率：1%以内

### 4 農業経営基盤強化資金利子助成事業

株式会社日本政策金融公庫から農業経営基盤強化資金の融資を受けて、経営の規模拡大や効率化を図ろうとする認定農業者の借入金利負担を軽減するため、資金融資を受けた認定農業者に対して、利子助成金を交付します。

対象資材等：各期間ごとの融資平均残高に係る利子 補助率：条所で定める率

### 5 集落営農組織育成事業

集落営農活動を推進するため、新規に営農組織を立ち上げるための活動に対して補助金を交付します。

対象資材等：会議日当等 補助率：経費の2分の1以内

### 6 高温障害対策事業

地球温暖化に伴い、夏の暑さで高原野菜及び花きの品質低下が懸念されます。セルリーやハウレン草をはじめとする高原野菜、鮮やかな花色を誇るスターチスなどの特色ある農産物を夏場の高温障害から保護し、産地としての地盤をより堅実なものとするための資材購入費の一部を補助します。

対象資材等：遮光シート等 補助率：購入費の10%以内

### 7 花き流通対策事業

花きの出荷に際し、鮮度保持の必要性から水揚げ材につけておく必要があります。水揚げ材の利用を奨励し、花きの品質を維持すると共に、出荷までの時間に余裕を持たせ、労力の軽減を図るための資材購入費の一部を補助します。

対象資材等：鮮度保持材 補助率：購入費の10%以内

### 8 野菜花き作期拡大事業

高冷地における野菜花きの栽培は降霜及び低温障害により出荷時期が限定されてしまうため、パイプハウス、被覆材等の導入を進め購入費の一部を補助し、作期の拡大を図ります。

対象資材等：ビニールハウス被覆材 補助率：購入費の10%以内

### 9 減肥栽培普及促進事業

諏訪湖や河川などの水質汚染対策として農地から流入する窒素・リン分の軽減と肥料に係る経費削減のため、水稻や野菜等の減肥栽培を推進します。化学肥料を慣行農法より30%以上削減して、一筆毎の散布量が分かること（堆肥については制限を設けません）、米や野菜、花きを出荷していることを条件とし、面積に応じて補助金を交付します。

補助率：10aあたり 500円

### 10 カラス捕獲施設維持管理事業

区等で管理する農作物のカラス被害防止施設の新設・維持管理に係る経費の一部を補助します。

対象資材等：施設の設置費維持管理費等 補助率：経費の2分の1以内

### 11 有機栽培産地確立事業(H22新規事業)

高原野菜を主体に有機栽培を促進し、環境に配慮した農業経営を目指すと共に生産した野菜に付加価値を付け、有機野菜栽培地としての地位を確立するため、原村内で生産されたバラ堆肥購入代金及び運搬・散布費の一部を補助します。

対象資材等：堆肥運搬・散布費(堆肥購入に併せて運搬・散布を依頼した場合のみ対象) 補助率：購入費等の30%以内

各事業の詳細な内容については、農林商工観光課農政係までお問い合わせください。

電話79-7931(直通)



曳行の様子



御柱迎いの「お舟」(前宮入口付近)



境内を流れる「水眼」の清流で、みそぎを行なった

## 御柱祭 里曳き

上社里曳きは、5月2日から4日の日程で行なわれました。

前宮二の御柱は、3日に建て御柱を行い、無事、終了しました。

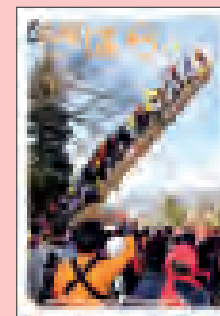


前宮境内の曳行



冠落としの様子

見事な建て御柱



●表紙写真/上社御柱祭里曳きが、5月2日から4日まで行なわれました。3日間とも天候に恵まれ、多くの氏子や、観光客で賑わっていました。前宮二の御柱は、見事な建て御柱を行い、里曳きのフィナーレを飾りました。

### CONTENTS

■ 御柱祭 里曳き	2
■ 農政補助事業	3
■ はじめよう生ごみリサイクル	4
■ “超簡単”生ごみ処理容器を作ってみましょう!	5
■ 村づくり通信	6
■ 暮らしの情報	7-9
■ 行政情報	10-11
■ 保健・福祉の掲示板	12
■ 暮らしのガイド	13
■ はらむらとぴくす	14-15
■ はじめまして1才6ヶ月です	16

# “超簡単”生ごみ処理容器を作ってみましょう!

この方法は、北海道の市民団体により考案された方法です。屋内でできるため、原村の冬でも生ごみが処理できます。家庭菜園やガーデニングの材料として広く利用されている「ピートモス」と「もみがらくん炭」を使い、また容器はダンボール箱を使うため簡単に始められるのが特徴です。

## こんな方に向けてます

- 冬でも、生ごみを処理したいがあまり経費はかけたくない。
- 屋内（台所の近く）で使いたい。

## 《準備するもの》

- ・ダンボール箱…2箱（縦30cm×横45cm×高さ30cm程度のもの。みかん箱など）
  - ・箱の底を浮かせるもの（木片・ラップの紙芯など）
  - ・ピートモス…15ℓ                      ・もみがらくん炭…10ℓ  
（いずれも土壌改良剤で、園芸店・ホームセンターなどで購入できます。）
  - ・木べらまたはシャベル（かくはん用）
- ※箱の大きさや土壌改良剤の量は1日に出る生ごみの量が500g程度の場合の目安です。

## 1. ダンボールを組み立てる

ダンボールの上ふたを立てて、紙テープで四隅をとめ、底が抜けないうようにダンボールを敷いて補強します。別のダンボールでフタを作ります。

## 2. 基材を入れる

ピートモスと、もみがらくん炭をダンボール箱の深さの半分くらいまで入れ、よく混ぜ合わせます。

## 3. 通気性を良くする

容器用のダンボールからは分解に伴う多量の水蒸気(水蒸気)が全面から発生するので、周りの通気性を良くしておきましょう。(特に底に注意)

## 4. 生ごみを入れる

生ごみは水を切ってから入れて、よくかき混ぜます。かき混ぜ終わったら、ハエなどの虫が隙間から入らないようしっかり蓋をしましょう。最初は米ぬかをひとつかみ入れると、分解が早く始まりやすくなります。

## 5. 毎日の管理

1日1回、あるいは生ごみを入れる度、箱の中をかきまわし空気を取り入れます。1~2週間で、温度が30℃台に上昇します。

## 6. 堆肥として使う

3カ月ぐらい続けたら、生ごみの投入をやめ、時々かくはんします。1~2週間後、土と混ぜ、更に1~2カ月程度置くと堆肥として使えるようになります。

## ポイント

- 容器は、室温が20℃以上の所に設置する。10℃以下では分解されない。
- 投入する生ごみの量により、基材の量・箱の大きさを調整する。
- 初日は量を多めに(1kg)、2~10日までは少なめに(500g程度)入れると良い。
- 生ごみを投入しなくても、1日1回は全体をよくかくはんする。
- 基材の水分は50~60%(にぎって開いたとき、すぐ崩れない状態)が適当。



# はじめよう生ごみリサイクル ~循環型社会へ向けたゴミの分別~

私たちの生活形態は近年多様化が進み、快適な生活を送れるようになりました。しかし、大量生産、大量消費といった社会形成は、環境破壊や資源・エネルギーの枯渇問題を引き起こしています。このような問題を解決するために、資源・エネルギーを繰り返し使い、その量を減らすと同時にゴミの発生する量も減らしていく「循環型社会」の形成が必要となってきています。

## ■ 可燃ごみの減量努力が処理費用に反映します

現在、原村の家庭から排出される燃えるごみは、茅野市・富士見町・原村の3市町村で共同運営している「諏訪南清掃センター」で焼却処理されています。この焼却処理にかかる費用は、3市町村の負担金でまかなわれています。そしてこの負担金の割合が平成22年度より【均等割20%・実績割80%】と改められることとなりました。均等割とは、処理費用の20%に相当する額の1/3づつを3市町村それぞれが負担することで、また実績割とは、処理費用の80%に相当する額を、それぞれの市町村が排出した燃えるごみの量によって負担するものです。

これは費用負担の公平性の確保や、住民一人ひとりの減量努力を反映させるために改められたもので、燃えるごみの処理費用の負担が各市町村からの排出量によって増減します。燃えるごみの減量と資源化努力が結果となって表れるということになります。

## ■ 生ごみの減量化に取り組みましょう

燃えるごみのうち、約40%が生ごみです。生ごみが減れば燃えるごみは減量できます。原村では生ごみ処理機器を購入すると補助金が交付されます。機械式の生ごみ処理機は、1基について購入費の1/2以内で、20,000円を上限として補助金を交付します。コンポスト等の生ごみ処理容器は、1基について購入費の1/2以内で補助金を交付します。ぜひ補助金を利用して生ごみの減量に取り組んでみてください。詳しい内容は、建設水道課環境係までお問い合わせください。

